

大雪山・裏旭野営指定地旭への 携帯トイレブース設置に向けたアンケート調査報告

裏旭野営指定地携帯トイレ検討連絡会
(文責 山のトイレを考える会 仲俣善雄)

1. 裏旭野営指定地にはトイレがない

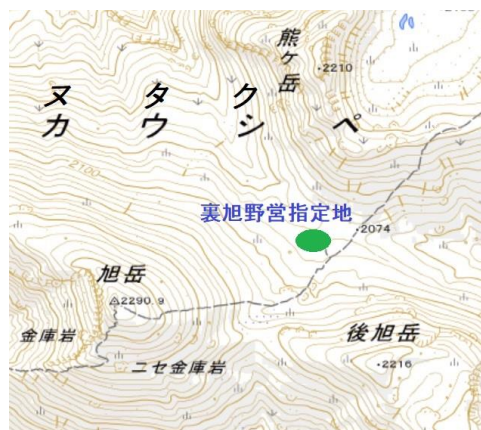
北海道最高峰、大雪山・旭岳（2,291m）の裏旭野営指定地（以下 裏旭）は、山頂から東方向に距離で約800m下った標高約2,074mにあり、水も豊富で景観もよく、キバナシヤクナゲやエゾコザクラの群落地に囲まれた素晴らしい野営地である。

しかしトイレが無く、また登山者が携帯トイレを持ってきても身を隠す所もないため、用を足すのに困惑する野営地でもある。

裏旭に携帯トイレブースが必要でないか？昨年（2020年）、山のトイレを考える会（以下考える会）運営委員4名で裏旭に1泊して現地調査と登山者への聞き取り調査を実施した。残念ながら聞き取り調査の件数が12件と少なく、皆さんどこで排泄しているのか掘り下げた調査はできなかった（第22回山のトイレフォーラム資料集59ページの報告書を参照）。



素晴らしい景観の裏旭野営指定地



裏旭野営指定地マップ

2. みんなが抱いている裏旭の漠然とした印象

裏旭について知っている人は下記のような印象を話す。

- 水が豊富で景観も素晴らしいがトイレが無い
- 強風が通過する場所。テント倒壊を防ぐ防風用の石積みが多数ある
- 身を隠す所がない。近くに小さな岩があるが全身を隠すことができない。どこで用を足したらよいのか分からない
- あまり混雑しないテン場だ
- ティッシュ（以下 トイレ紙）が散乱していなし、トイレ道もない

しかし、「宿泊した登山者はどう思っているのか。本当に困っているのか」「どこで排泄しているのか」「どのくらいの人利用しているのか」など、目的を持った現地調査やアンケート調査、宿泊者数の把握などについて本格的に実施されたことはなかった。

3. 裏旭野営指定地携帯トイレ検討連絡会

2021年2月に北海道の山岳団体、自然保護団体、山岳事業者、ガイド協会、研究者等の賛同を得て「裏旭野営指定地携帯トイレ検討連絡会」（以下 連絡会）を設立した。事務局は考える会である。

連絡会では分担して現地でアンケート調査を実施、携帯トイレブースの必要性について検討することにした。

以下賛同した18団体を示す。アンケート調査実施団体を下線で示す。

日本山岳会北海道支部・北海道山岳連盟・札幌山岳連盟・道央地区勤労者山岳連盟・NPO法人大雪山自然学校・大雪と石狩の自然を守る会・旭川勤労者山岳会・旭川山岳会・大雪山倶楽部・北海道山岳整備・大雪山山守隊・NPO法人かむい・北海道大学（愛甲研究室）・山楽舎BEAR・北海道山岳ガイド協会・HAT北海道・大雪山国立公園パークボランティア連絡会・山のトイレを考える会

4. アンケート調査の実施状況

アンケート調査は宿泊者用と通過者用の2種類を用意した。宿泊者用のアンケート用紙を【別紙1】、通過者用のアンケート用紙を【別紙2】に示す。また、現地の状況を把握するため、事務局に実施報告書の提出をお願いした。実施報告書の様式を【別紙3】に示す。

アンケート調査は7月10日～8月29日の間、7団体で9回実施。回収数は宿泊者72枚、通過者95枚（有効回答84枚）であった。

各団体のアンケート調査実施状況は下記のとおり。〔 〕は実施日の天候である。

- ・7月11日（日）：日本山岳会北海道支部〔曇り・土は荒天で中止〕
- ・7月11日（日）～12日（月）：山のトイレを考える会〔雨・濃霧〕
- ・7月17日（土）～18日（日）：北海道山岳連盟〔晴れ・晴れ〕
- ・7月22日（木）～23日（金）：NPO法人大雪山自然学校〔晴れ・晴れ〕
- ・7月24日（土）～25日（日）：道央地区勤労者山岳連盟〔曇り・晴れ〕
- ・7月31日（土）～8月1日（日）：山のトイレを考える会〔晴れ・濃霧〕
- ・8月7日（土）：札幌山岳連盟〔晴れ・日は荒天予報で中止〕
- ・8月21日（土）～22日（日）：北海道山岳連盟〔曇り・晴れ〕
- ・8月28日（土）～29日（日）：大雪と石狩の自然を守る会〔両日とも濃霧と強風〕



宿泊者へのアンケート調査模様

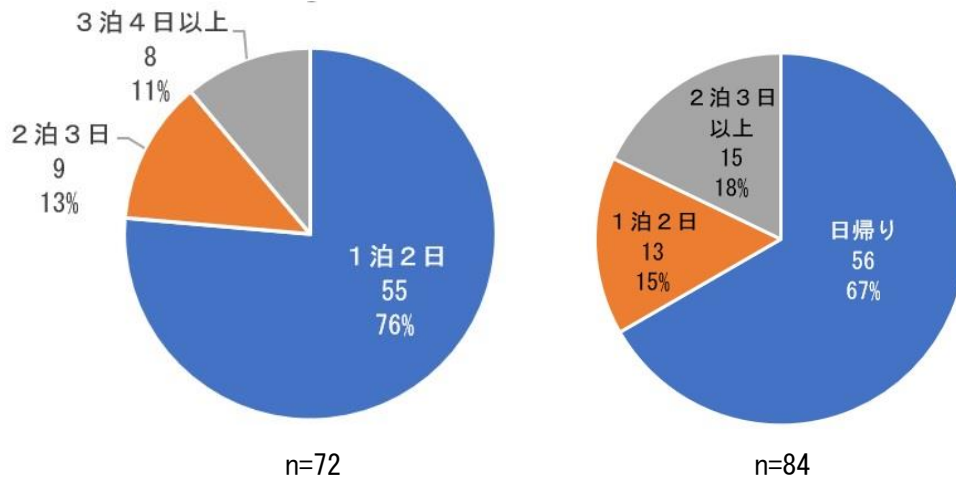


通過者へのアンケート調査模様

5. アンケート調査実施結果

アンケートは宿泊者用と通過者用でほぼ同じ内容なので、問い毎に並べて考察しながら説明する。しかし、通過者は当日の通過者全てを網羅したものではなく限定的な時間帯での調査となるので、考察が必要と思われる間についてのみ記述することとした。

問1 (宿泊者) 山中何泊の登山ですか。 (通過者) 日帰りですか山中泊ですか。



問2 (宿泊者) 今回の登山コースはどれですか？ (n=72) ※RW：ロープウェイ



- 旭岳周回(旭岳RW-旭岳-裏旭泊-間宮岳-裾合平-旭岳RW)
- 旭岳-黒岳縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭泊-黒岳-黒岳RW)orその逆
- 大雪山縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭泊-白雲岳)orその逆
- 大雪山・十勝連峰縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭泊-忠別岳-トムラウシ-十勝連峰)orその逆
- 旭岳RW-裏旭-旭岳RW
- その他

(通過者) 今回の登山コースはどれですか？ (n=84)



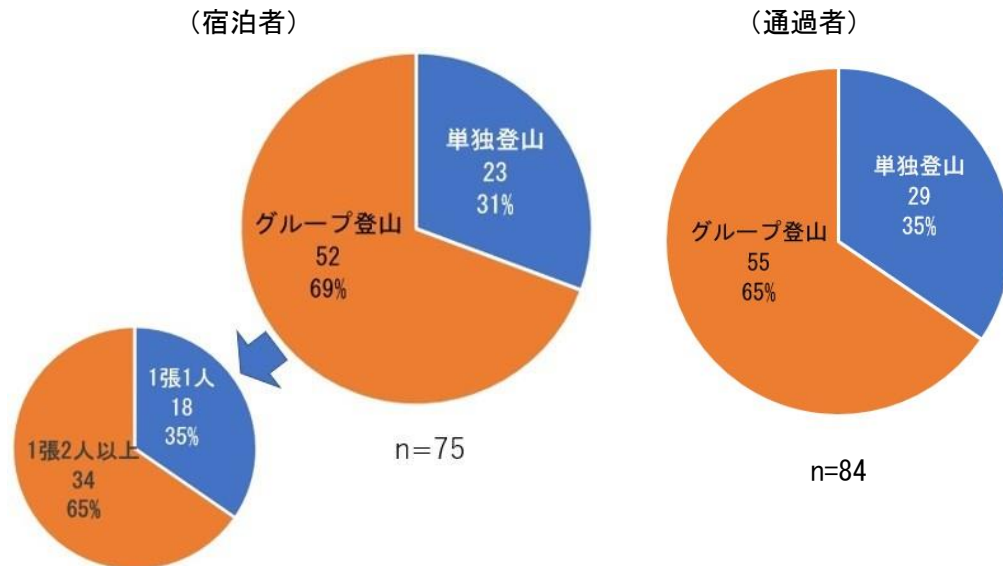
- 旭岳周回(旭岳RW-旭岳-裏旭-間宮岳-裾合平-旭岳RW)
- 旭岳-黒岳縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭泊-黒岳-黒岳RW)orその逆
- 大雪山縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭-白雲岳-旭岳RW)orその逆
- 大雪山・十勝連峰縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭-忠別岳-トムラウシ-十勝連峰)orその逆
- 大雪山縦走(旭岳RW-旭岳-裏旭-北鎮岳-愛山溪温泉)orその逆
- その他

[問1と問2の考察]

- ・裏旭に宿泊した登山者は、登山中の宿泊日数が1泊の登山者が多く76%であった。

- ・裏旭に1泊で裾合平を經由する旭岳周回コースと旭岳－黒岳縦走コースの人气が高く、合わせると72%を占めた。通過者も両コースの合計が70%であった。
- ・宿泊者も通過者も旭岳ロープウェイを利用（下山も含む）する人がほとんどである。
- ・2泊以上の宿泊者では次泊（前泊含む）で一番多いのが白雲岳避難小屋、次に黒岳石室であった。通過者も同様であった。

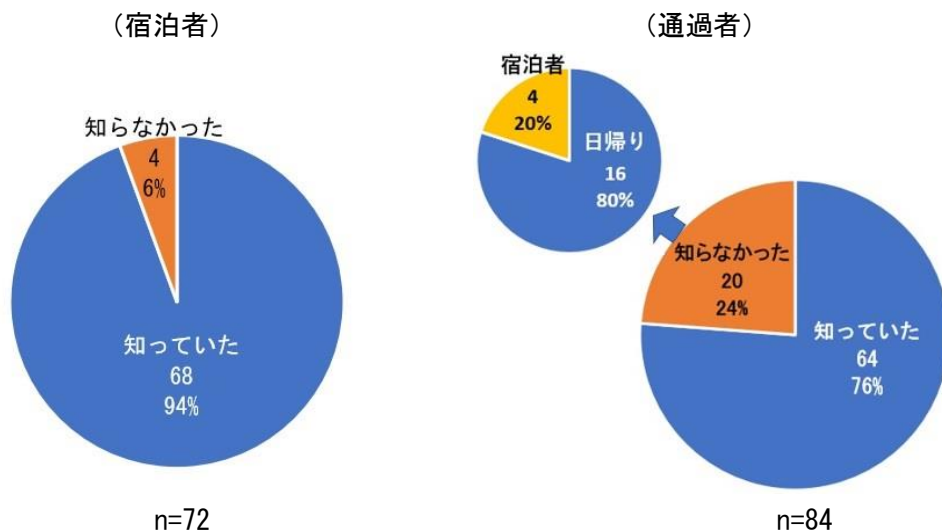
問3 今回の登山のパーティ構成について



〔宿泊者の考察〕 n=75（グループ登山でアンケート未記入者3人を含む）

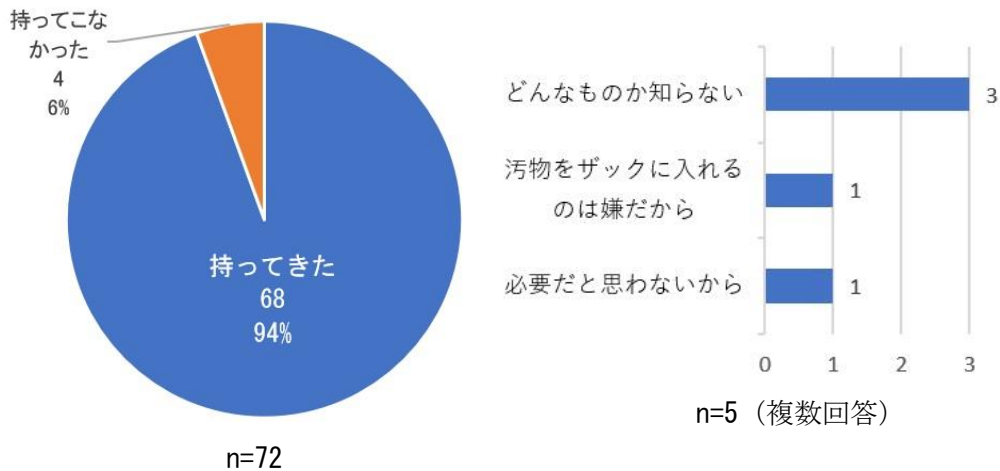
- ・単独登山とグループ登山を比較すると、2/3がグループ登山者である。
 - ・グループ登山の52人のうち18人がソロテント。単独登山者23人と合わせるとソロテントが41張。ソロテントは全体のテント数（56張※）の73%を占める。
 - ・調査日の合計値56張に75人が宿泊していた。1張当たり平均1.34人となる。
- ※実施報告書の総計は67張だが、アンケートを書いていないテントが11張ある。

問4 大雪山全域で携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか？



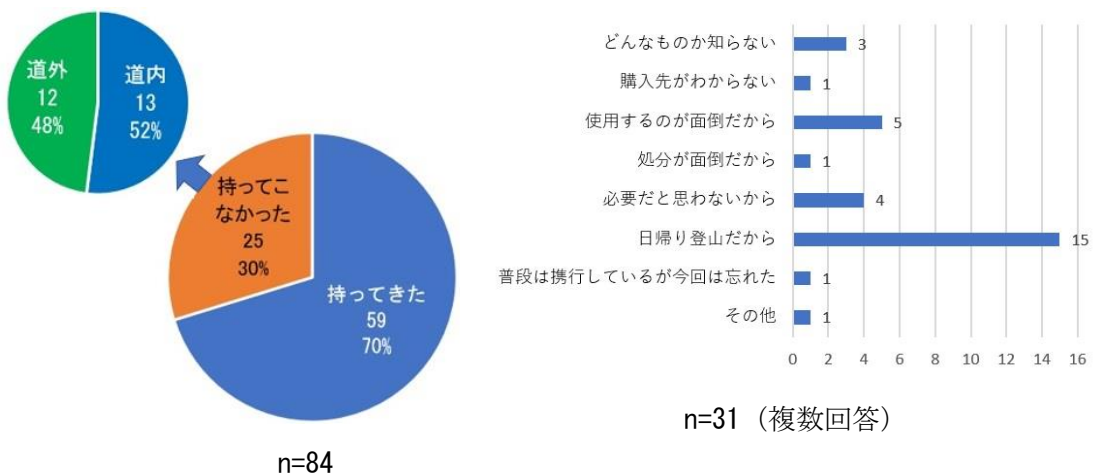
[考察] 携帯トイレ利用の認知率は宿泊者94%と高かった。通過者は76%であった。通過者の「知らなかった」は8割が日帰り登山者だった。

問5 (宿泊者) (1) 今回の登山で、裏旭野営指定地に携帯トイレを持ってきましたか?
(2) 携帯トイレを持ってきていない理由について (複数回答)



[考察] 宿泊者の携帯トイレの持参率は94%と高率だった。持ってこなかった人は僅かだが、その理由は「どんなものか知らない」が3人いた。

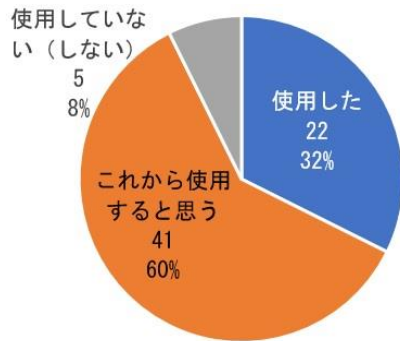
問5 (通過者) (1) 今回の大雪山登山では、携帯トイレを持ってきましたか?
(2) 携帯トイレを持ってきていない理由について (複数回答)



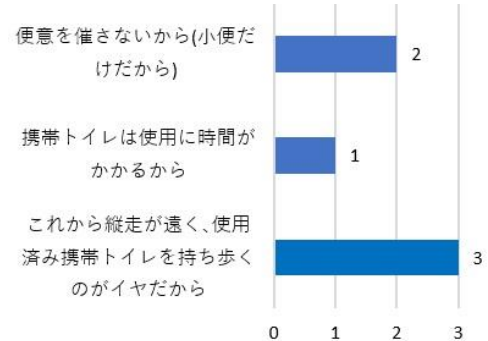
[考察] 通過者の携帯トイレの持参率は70%だった。「持ってこなかった」は道内、道外でほぼ半々であった。持ってこなかった人の理由は「日帰りだから」が最も多い。また「使用するのが面倒だから」「どんなものか知らない」と回答した人もいた。

問6 (宿泊者) 裏旭では携帯トイレブースが設置されていませんが持参した携帯トイレは
どうしますか？

- (1) 裏旭で携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？ (2) 携帯トイレを使用していない(しないと思う)理由は何ですか？(複数回答)



n=68 (持参者)

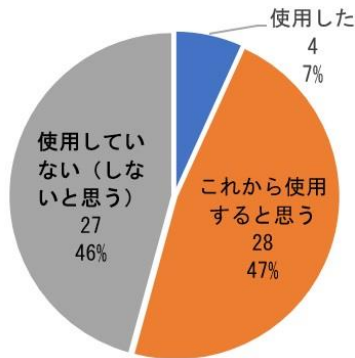


n=6 (複数回答)

[考察] 携帯トイレの持参者の92%が使用した、これから使用すると思うと回答。
裏旭での携帯トイレ使用率は、ブースが無い状況にもかかわらず大変高い割合である。
使用しない人は僅かだが、これから縦走が遠く持ち歩くのが嫌だとの理由もあった。

問6 (通過者) 携帯トイレを持参した方に伺います

- (1) 携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？ (2) 携帯トイレを使用していない(しないと思う)理由は何ですか？(複数回答)



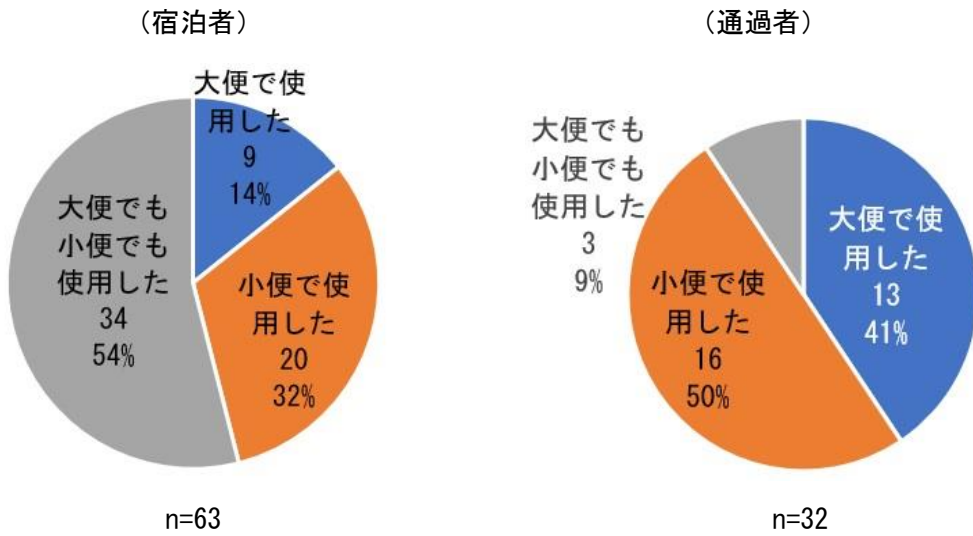
n=59



n=25 (複数回答)

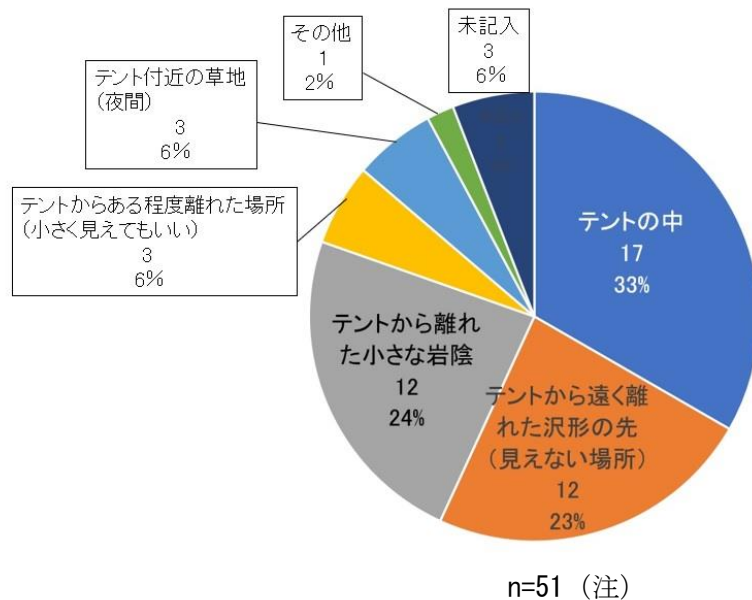
[考察] 通過者の携帯トイレ持参者の54%が使用した、これから使用すると思うと回答。
使用していない(しないと思うも含む)も46%を占めた。
使用しない理由は「便意を催さない(小便だから)」が52%、「隠れる場所がないから」が24%と多く、「携帯トイレブースがないから」との回答もあった。
「便意を催さない(小便だから)」(n=13)の男女の割合は男性62%と多かったが、
男女の比も61%が男性(問10)であり、男性も女性も小便では携帯トイレを使用
しないと推測される。

問7 使用したのは大便ですか、小便ですか？（これからするも含む）



〔考察〕 宿泊者は「大便でも小便でも」「大便で」を合わせると約7割。「これからする」との意思も含まれるが大便では必ず使用すると考えている人と推察される。また、グラフ表示は省略するが「大便で使用」の9人のうち男性が8人だった。これは「男性は大便では使用するが小便では使用しない」が多いと推察される。

問8 (宿泊者) 裏旭のどの場所で携帯トイレを使用しましたか（これから使用しますか）？



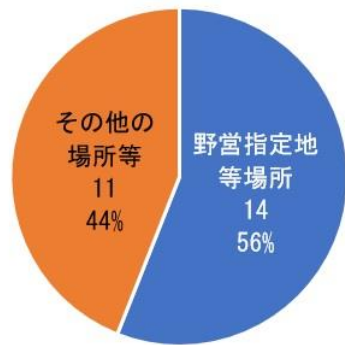
(その他の内容) テント泊が私たちだけであり、近くで携帯トイレを使用した=1人(女性)

(注) ツェルトを持参し、仮設携帯トイレブースとして使用した12人は母数から除いた

全回答者72-未持参者4-使用せず5-仮設ブース使用12=51

〔考察〕 裏旭での登山者は、いろいろな方法で苦労して携帯トイレを使用している状況が明らかだった。テントの中で使用した割合が33%もあり驚く。何とか隠れる場所を探している様子が伺えた。

問8 (通過者) 携帯トイレを使用した場所はどこですか (これから使用する予定場所も可)

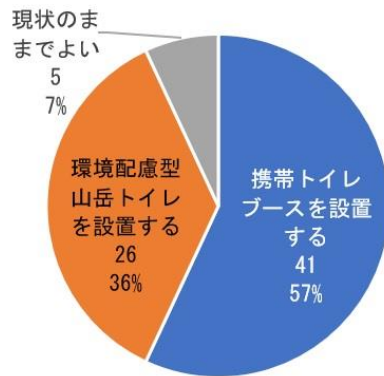


- ・野営指定地等場所では「黒岳石室」「トムラウシ南沼」など
- ・その他の場所では「中岳温泉」「ブースのある所」「岩陰」など

(※) 記入があった使用場所をカウント

n=25 (※)

問9 (宿泊者) 裏旭野営指定地のトイレ問題について、あなたの考えをお聞かせください

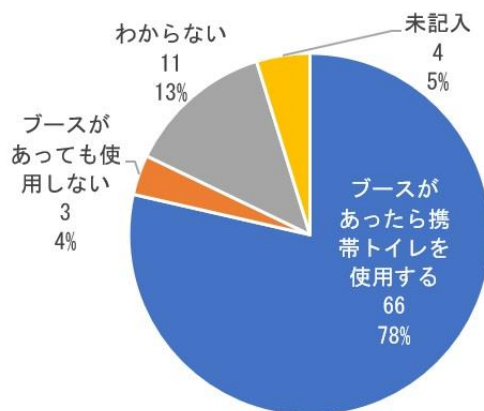


[考察]

- ・携帯トイレブースを設置して欲しいが57%、環境配慮型トイレの設置要望が36%、合計すると93%がトイレ環境をよくするための整備を要望していた。
- ・少数ではあるが、現状のままの環境でよいとの意見もあった。

n=72

問9 (通過者) いま通過する裏旭には携帯トイレブースは設置されていません。裏旭に携帯トイレブースが設置されたら立寄り、携帯トイレを使用しますか？

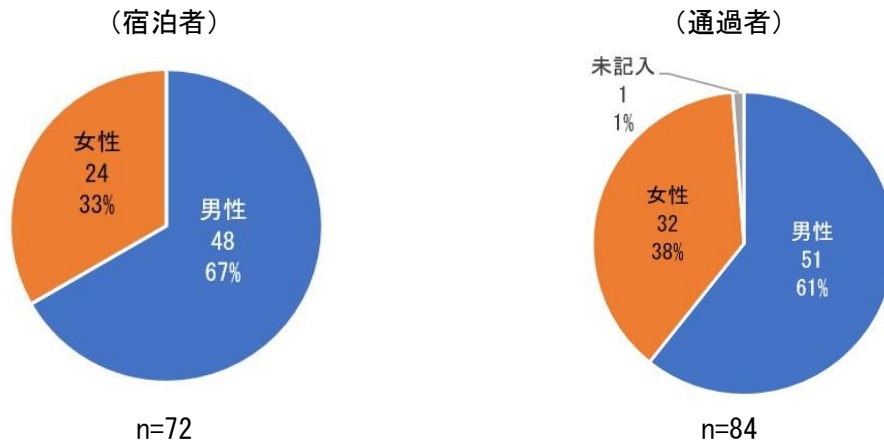


[考察]

アンケートを依頼した時間帯の通過者の内、78%が裏旭に携帯トイレブースが設置されたら立寄って利用すると回答した。裏旭に携帯トイレブースが設置された場合には、テント宿泊登山者と併せて通過登山者にも利用され、大雪山のトイレ改善に効果が上がると想定される。

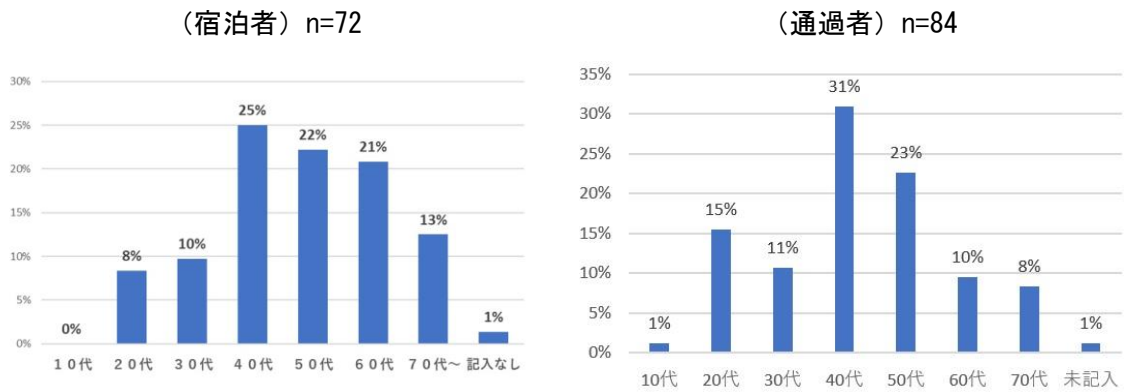
n=84

問10 性別について



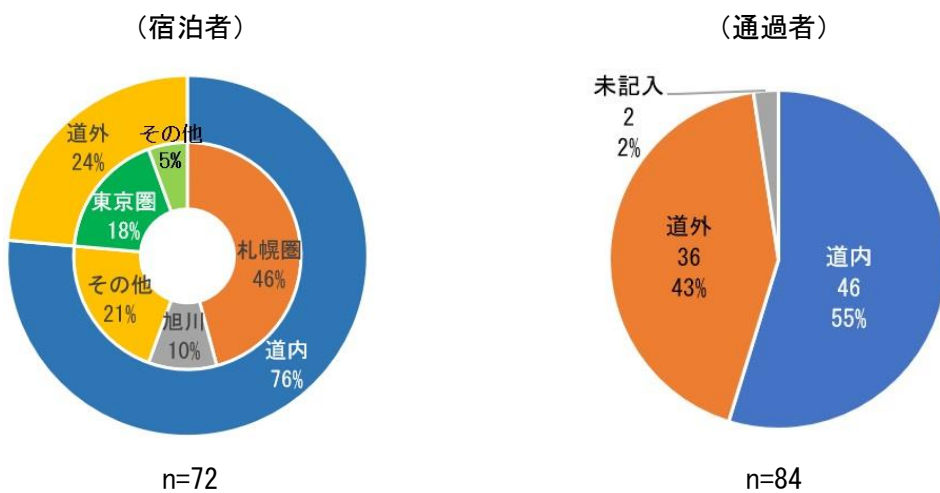
〔考察〕 宿泊者も通過者も男女比はほぼ同じで、男子が2/3。女子が1/3の割合だった

問11 あなたの年齢について



〔考察〕 宿泊者の年齢層は40代~60代の人が多く合わせて68%だった。
通過者の年齢層は40代~60代で64%を占めたが、20代も15%いた。

問12 あなたのお住いの都道府県と市町村について



〔考察〕 宿泊者の住まいは道内76%、道外24%であった。その内、道内では札幌圏が46%、旭川圏が10%を占めていた。道外では東京圏が18%と最も多かった。

6. 実施報告書から得られたこと

実施報告書ではテント数とトイレ紙回収数の報告も求めた。

(1) テント数

裏旭では主たるテント場と旭岳東斜面の大雪溪から流れる小川を挟んだ向かい側の裸地にもテントを張っている人がいる。実施報告書では総テント数と、そのうち小川向かいエリアのテント数も報告してもらった。

7回の実施報告書での総テント数は67張。そのうち小川向かいエリアのテント数は15張(22%) (図1参照) だった。小川の向かいにも4張に約1張の割合でテントを張っていることが分かった。

(図1) エリア別の設営テント数 (写真提供：環境省)



(2) 回収したトイレ紙の数

トイレ紙の回収は義務ではなく可能な団体で実施してもらった。荒天で回収できなかった団体もあったが、累積の回収数は8コと少なかった。

7. アンケート調査と実施報告書の意見や感想

アンケート調査では回答者の自由記載による意見や感想、実施報告書ではアンケート調査員に意見や感想を書いてもらった。特に印象に残ったものを以下に転載する。

[回答者]

- ① 旭岳もキャンプ指定地も見晴らしがよく大好きです。しかし、眺めの良い分トイレの不安があります。携帯トイレを持参しても隠れる場所が必要です。隠れるために登山道を離れるとなると高山植物も踏んでしまいます。景観に配慮したトイレブースが設置されることを願います。(東京都・女性)
- ② 女性としては姿が見えないのはありがたいので、携帯トイレブースだけでもあると助かります(東京都・女性)
- ③ 裏旭野営指定地は景観もよく水も豊富で素晴らしいテント場ですがトイレが無く、隠れる場所もないので携帯トイレを使う環境でない。特に女性は宿泊を敬遠する。携帯トイレ普及宣言に恥じないよう早急に携帯トイレブースの設置を望む(札幌市・男性)

- ④ きれいな野营地（この日はキバナシャクナゲ満開）なので、トイレ問題が解決すれば最高のテン場になると思いました（札幌市・女性）

[アンケート調査員]

- ① 4連休の初日のためテン泊者が多い日でした。女性の方も多く、アンケート時には、やはりこちらにも携帯トイレブースがあると助かる、といった声も寄せられました。翌日は、中岳温泉経由で姿見に戻りましたが、中岳温泉の携帯トイレブースでは利用している方もいたので、やはり便利な様子です。ゴミの放置の観点からも裏旭には期間限定でもいいので、私も携帯トイレブースがあると非常に便利だと感じました。
- ② 私達女性にとってトイレブースが無い状態での携帯トイレの使用は大変でした。テント内での思いましたが2名で1張の為それも難しく、結局夜が更けるまで我慢、翌朝は男性が出発してから使用した次第です。トイレブースが無理ならせめて石を積んで隠れる場所があると助かるのと思いました。
- ③ 両日ともガスと強風でトイレブースを建てる状況ではなく岩陰で携帯トイレを使用しました。悪天候でテントにて停滞している登山者はこれから富良野岳までの縦走を予定していて持って歩くのが嫌なので使わないとの事でした。宿泊者がガスで野营地の入り口が分からなくて野营地ではない所に初日テントを張ったそうです。

8. 裏旭の利用状況調査について

考える会では裏旭を俯瞰できる熊ヶ岳（2,210m）の斜面上に自動撮影の定点カメラを設置、日別のテント数を把握した。

カメラは考える会で購入、カメラの設置・測定は環境省大雪山国立公園管理事務所上士幌管理官事務所の上村哲也氏（自然保護官補佐）に勤務時間外のボランティアで実施していただいた。



自動撮影定点カメラ



裏旭と定点カメラの位置

(1) 調査期間

調査期間は7月10日～9月20日、調査日数は73日だった。撮影は1時間に1回の自動撮影。夜間も撮影を行うが、フラッシュを使わないため夜間の写真は使用できない。また

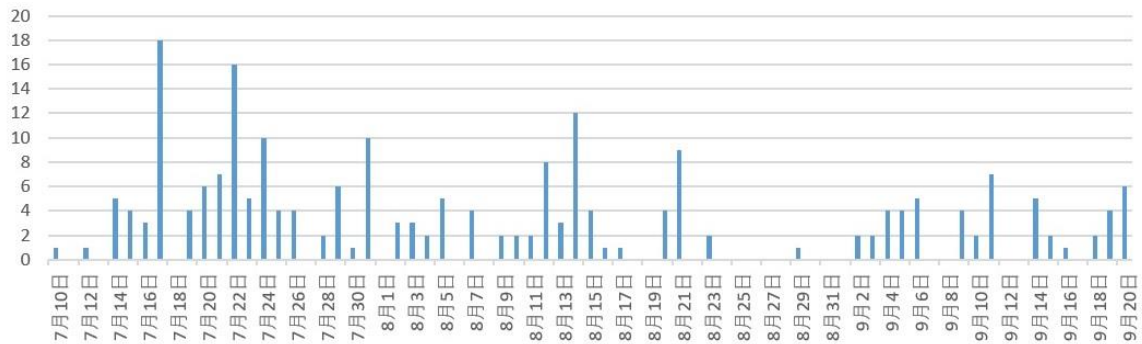
濃霧の時もテントが判別できない時がある。

1日の撮影された画像のうち、テントを判別できる画像が1枚もなかった日を欠損日とした（1枚でも判別できる画像があれば、撮影時刻にかかわらず採用）。

(2) 調査結果

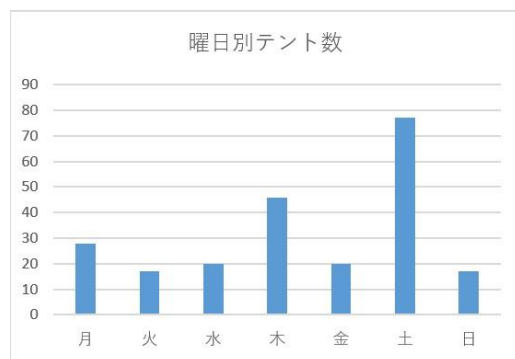
日別のテント数を（図2）に示す。欠損日は12日だった。

（図2）日別テント数

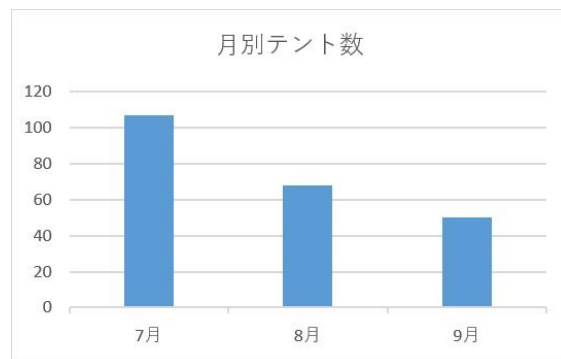


曜日別のテント数と月別のテント数は（図3）と（図4）に示す。

（図3）曜日別テント数



（図4）月別テント数



欠測日を除いた61日間のテント設営数は計225張、日最大テント数は18張だった。日別テント数の上位5位を（表1）に示す。

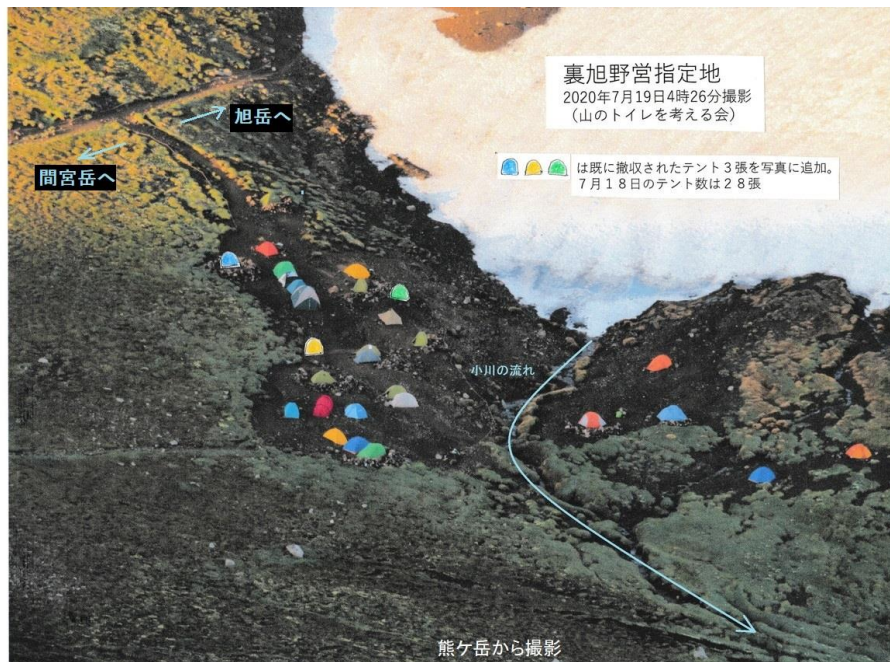
（表1）裏旭の日別テント数上位5位

	日付	曜日	テント数	撮影時刻	特記
1	7月17日	土	18	19:02	
2	7月22日	木(祝日)	16	19:02	7月23日も祝日
3	8月14日	土	12	18:08	
4	7月31日	土	10	18:01	
5	8月21日	土	9	翌日4:00	

(3) 考察

- ・定点カメラによる調査期間ではテント数の最大値は18張であった。
- ・曜日別では土曜日のテント数が多く、日別テント数上位5位のうち4日を占める。次いで多いのが木曜日。7月22日(木)と23日(金)が祝日であったことから22日のテント数が影響していると推測される。

(参考) 2020年7月18日～19日(考える会が1泊2日で調査)は28張だった。
その時の熊ヶ岳から俯瞰した写真を示す。



9. 今回の調査から分かったこと

- ①携帯トイレの使用をお願いしていることの認知率も携帯トイレ持参率も宿泊者は94%と高率であった。通過者の認知率と持参率は70%代だった。通過者で持ってきていない人の理由は「日帰りだから」が多かった。
- ②裏旭は身を隠す所がないので、宿泊者が困っていることが浮き彫りにされた。困惑しながらも工夫して携帯トイレを使用していることが分かった。中でもテントの中で携帯トイレを使っている人が33%と多い。次にテントから離れた小さな岩陰、テントから遠く離れた沢形の先(見えない所)でこの3箇所ですべて約8割を占めた。そのほかテントからある程度離れた場所(小さく見えてもかまわない)、テント地の草地(夜間)と多岐に亘った。
- ③宿泊者で携帯トイレブースかトイレを設置して欲しいと回答した人は93%と高率であった。通過者で携帯トイレブースがあったら使用すると回答した人は78%だった。
- ④テントは小川の向こうにも4張に1張の割合で設営されていた。
- ⑤裏旭はトイレ紙の散乱が少ないことが今回の調査で確認できた。これはトイレ紙の持ち帰りが登山者に定着しているからと推察される。また、トイレ道がないのは、トムラウシ南沼野営指定地のような大きな岩もなく隠れる場所がないので、分散して排泄をしているからだと推察される。しかし、高山植物を踏んでいることは明らかである。
- ⑥裏旭の宿泊者数を推計した。問3の考察で記述したが、1張当たり平均1.34人宿泊して

いる。欠測日を除くと61日で総テント数は225張。1日平均3.69張。テント設置可能期間を7月10日～9月31日とすると総日数は114日。

$3.69 \text{張} \times 1.34 \text{人} \times 114 \text{日} = 563 \text{人}$ 。

2021年の裏旭でのテント宿泊者数は約560人と推計される。

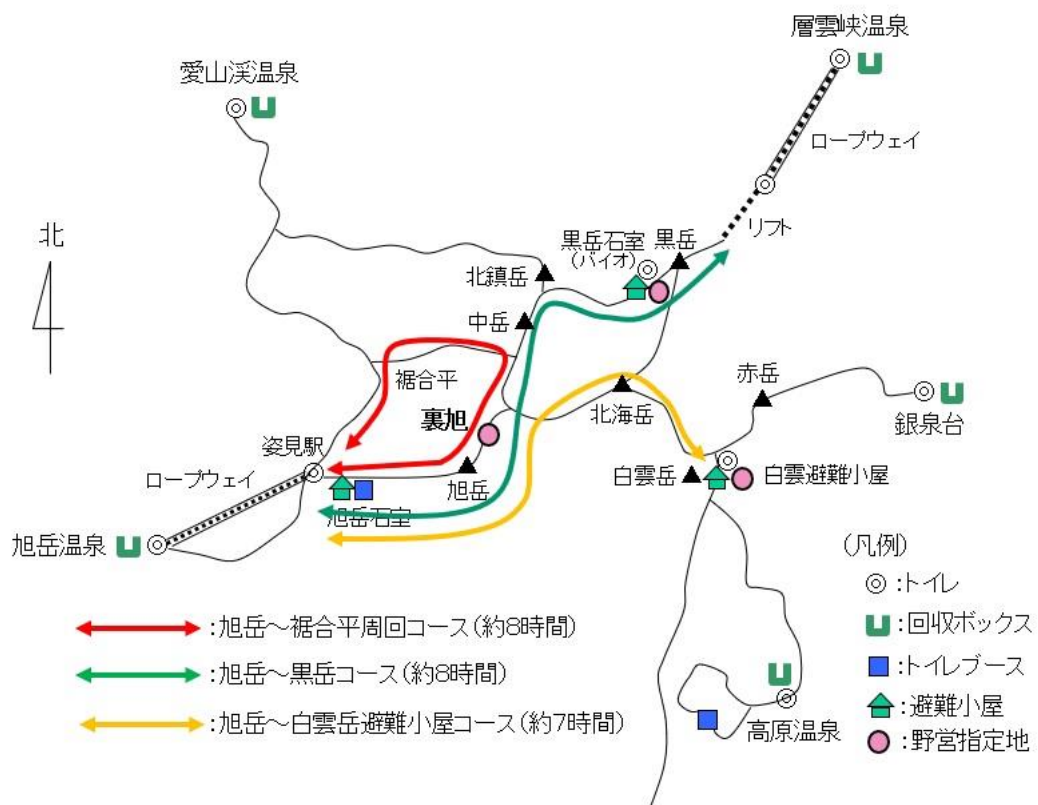
10. 考察のまとめ

裏旭は裾合平を経由する旭岳周回コース（図5の赤色）と旭岳-黒岳縦走コース（図5の緑色）、そしてトムラウシ山や十勝連峰縦走の中継拠点である白雲岳避難小屋へ向かうコース（図5黄色）の途上にある。裏旭の通過者は約7～8時間もトイレが無いコースを歩かなければならない。

裏旭宿泊者の携帯トイレの持参率は94%。携帯トイレブースの設置（トイレ設置要望も含む）は93%の人が要望している。また、通過者も「携帯トイレブースがあれば立寄って利用したい」が78%もあった。

裏旭に携帯トイレブースが設置された場合には、宿泊者と併せて通過登山者も安心して携帯トイレを利用できる環境となり、大雪山の山岳環境改善に大きく寄与できると考える。

（図5）裏旭を経由する主な登山3コース



11. 今後の課題と検討事項

- ・裏旭の主なテント設営エリアはロープ柵で囲まれているが、小川の向こうの裸地にはロープ柵がない。どこにでも設営でき裸地が拡大する恐れがある。
- ・もし、携帯トイレブースの設置が決まった時に、強風に耐える構造、施工方法の検討が必要である。また、通過者にも配慮した設置場所の選定が必要になる。

- ・維持管理をどうするか。
- ・携帯トイレを持参しなかった人は日帰り登山者が多い。どのような方法で登山者に周知し、携帯トイレの使用を促進させるか。
- ・昨年度も今年度もコロナ禍で登山者はインバントを含め減少している。コロナ感染が収束するともっと宿泊者は多くなりそうである。外国人にも携帯トイレについて理解してもらい、協力を呼びかける体制が必要である。

12. おわりに

今回は北海道の山岳団体の賛同と協力を得て、アンケート調査を実施することができた。コロナ禍の中、また悪天候にもかかわらず調査に協力していただいたことに深く感謝したい。

考える会では、昨年の第3回大雪山国立公園連絡協議会登山道部会の会議（2021. 12. 10）において、「大雪山のトイレ問題を検討する小委員会（仮称）を協議会の下部に設置し、関係者で協議できるようにして欲しい」との提案をした。この小委員会の実現に期待したい。

今回のアンケート調査は始まりにすぎない。いろいろな課題はあるが、それを乗り越え、大雪山国立公園携帯トイレ普及宣言が登山者に認められ、世界に誇れる素晴らしい国立公園となることを願っている。

（注記）本報告はフォーラム資料集用に作成した要約版で著者の思いも書いている。

公式な報告書は『2021年（令和3年）大雪山・裏旭野営指定地への携帯トイレブース設置に向けたアンケート調査報告書』裏旭野営指定地携帯トイレ検討連絡会（2022年（令和4年）2月）をご覧ください。

（以 上）

調査員記入欄	調査日：令和3年 月 日 () 時 分 天候；	組合せ： . /
--------	--------------------------	----------

大雪山・裏旭野営指定地の“携帯トイレ”に関するアンケート

大雪山・裏旭野営指定地での携帯トイレ利用に関して、ご意見を伺うものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、回答がそのまま公表されることはございません。ご協力をお願いいたします。

裏旭野営指定地 携帯トイレ検討連絡会(仮称)

ご意見連絡先；事務局 山のトイレを考える会 Email；hokkaido@yamatoilet.jp

～ 今回の登山コース等についてお伺いします ～

問 1. 山中何泊の登山ですか？ 下線部に記入してください。 _____ 泊 _____ 日
前泊があった場合、その泊地： _____ ， 次泊がある場合、その予定泊地： _____

問 2. 今回の登山コースはどれですか？ 下線部に記入及びあてはまるものに○をしてください
(登山口： _____ 下山口(予定)： _____)

- 1: 旭岳周回 (旭岳 RW－旭岳－裏旭泊－間宮岳－裾合平－旭岳 RW) RW; ロープウェイ
- 2: 旭岳－黒岳縦走 (旭岳 RW－旭岳－裏旭泊－黒岳－黒岳 RW, or その逆)
- 3: 大雪山縦走 (旭岳 RW－旭岳－裏旭泊－北鎮岳－愛山溪温泉、or その逆)
- 4: 大雪山縦走 (旭岳 RW－旭岳－裏旭泊－白雲岳－ _____ 、or その逆)
- 5: 大雪山・十勝連峰縦走 ((旭岳 RW－旭岳－裏旭泊－忠別岳－トムラウシ－十勝連峰－ _____ or 逆)
- 6: その他(_____)

問 3. 今回の登山のパーティー構成について、あてはまるものに○をつけてください。

- 1: 単独 2: _____ 人パーティー(テント _____ 人) →パーティーの属性を以下から選択して下さい。
(a: 友人・家族 b: 社会人山岳会 c: ツアー登山 d: 学生山岳部 e: その他 _____)

～ 裏旭野営指定地での携帯トイレの利用に関連してお伺いします ～

問 4. (1) 大雪山全域では携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか？

- 1: 知っていた 2: 知らなかった

問 5. (1) 今回の登山で、裏旭野営指定地に携帯トイレを持ってきましたか？

- 1: はい →問6へ 2: いいえ →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを持ってきていない理由について、あてはまるものに○をつけて下さい。

(複数可)

- 1: どんなものか知らない 2: 購入先がわからない 3: 携帯トイレは使用するのが面倒だから
- 4: 臭いが心配だから 5: 汚物をザックに入れるのは嫌だから 6: 処分が面倒だから
- 7: お金がかかるから 8: 必要だとは思わないから
- 9: 普段は携行しているが今回は忘れた 10: その他(_____)

裏面へ続く

問 6. 裏旭では携帯トイレブースが設置されていませんが持参した携帯トイレはどうしますか？

(1) 裏旭野営指定地で携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？

- 1: 使用した →問7へ 2: これから使用すると思う(翌朝も含む) →問7へ
3: 使用していない(しないと思う) →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを使用していない(しないと思う)理由は何ですか？(複数可)

- 1: 携帯トイレブースがないから 2: 携帯トイレを使う際の隠れる場所がないから
3: 便意を催さないから(小便だけだから) 4: 携帯トイレは使用に時間がかかるから
5: これから縦走が遠く、使用済み携帯トイレを持ち歩くのがイヤだから
6: 天気が悪くて使いにくいから 7: その他(_____)

問 7. 使用したのは大便ですか、小便ですか？

- 1: 大便で使用した(これからする) 2: 小便で使用した(これからする)
3: 大便でも小便でも使用した(これからする)

問 8. 裏旭野営指定地のどの場所で携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？

- 1: テントから遠く離れた沢形の先(見えない場所) 2: テントから離れた小さな岩陰
3: テントからある程度離れた場所(小さく見えてもかまわない) 4: テント付近の草地(夜間)
5: テントの中 6: その他(_____)

問 9. 裏旭野営指定地のトイレ問題について、あなたの考えをお聞かせ下さい。次の中から選んで○をつけてください。

- 1: 携帯トイレブースを設置する 2: 環境配慮型 山岳トイレを設置する
3: 現状のままでよい
4: その他(_____)

～ あなたご自身についてお伺いします ～

問 10. あなたの性別はどちらですか？ (1: 男性 2: 女性)

問 11. あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけて下さい。

- 1: 10代 2: 20代 3: 30代 4: 40代 5: 50代 6: 60代 7: 70代以上

問 12. あなたがお住まいの都道府県と市町村をご記入下さい。

(_____)都・道・府・県 (_____)市・町・村

ご意見・ご感想がございましたらお書き下さい。

調査員記入欄 調査日：令和3年 月 日（ ）時 分 天候：

裏旭 通過者の“携帯トイレ”に関するアンケート

大雪山・裏旭野営指定地での携帯トイレ利用に関して、ご意見を伺うものです。ご回答いただいた内容は、統計的に処理され、回答がそのまま公表されることはございません。ご協力をお願いいたします。

裏旭野営指定地 携帯トイレ検討連絡会(仮称)

ご意見連絡先；事務局 山のトイレを考える会 Email; hokkaido@yamatoilet.jp

～ 今回の登山コース等についてお伺いします ～

問 1. 今回の登山は日帰りですか 山中泊ですか？ a. 日帰り b. 山中泊 ____泊____日
山中泊があった(ある)場合、その泊地： _____, _____

問 2. 今回の登山コースはどれですか？ 下線部に記入及びあてはまるものに○をしてください。
(登山口：_____ 下山口(予定)：_____)

- 1: 旭岳周回 (旭岳 RW－旭岳－裏旭－間宮岳－裾合平－旭岳 RW) RW; ロープウェイ
- 2: 旭岳－黒岳縦走 (旭岳 RW－旭岳－裏旭－黒岳－黒岳 RW, or その逆)
- 3: 大雪山縦走 (旭岳 RW－旭岳－裏旭－北鎮岳－愛山溪温泉、or その逆)
- 4: 大雪山縦走 (旭岳 RW－旭岳－裏旭－白雲岳－ _____、or その逆)
- 5: 大雪山・十勝連峰縦走 ((旭岳 RW－旭岳－裏旭－忠別岳－トムラウシ－十勝連峰－ _____ or 逆)
- 6: その他(_____)

問 3. 今回の登山のパーティー構成について、あてはまるものに○をつけてください。

1: 単独 2: ____人パーティー →パーティーの属性を以下から選択して下さい。

(a: 友人・家族 b: 社会人山岳会 c: ツアー登山 d: 学生山岳部 e: その他 _____)

～ 裏旭野営指定地での携帯トイレの利用に関連してお伺いします ～

問 4. (1) 大雪山全域では携帯トイレの利用をお願いしていることをご存知でしたか？

1: 知っていた 2: 知らなかった

問 5. (1) 今回の大雪山登山では、携帯トイレを持ってきましたか？

1: はい →問6へ 2: いいえ →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを持ってきていない理由について、あてはまるものに○をつけて下さい。
(複数可)

- 1: どんなものか知らない 2: 購入先がわからない 3: 携帯トイレは使用するのが面倒だから
- 4: 臭いが心配だから 5: 汚物をザックに入れるのは嫌だから 6: 処分が面倒だから
- 7: お金がかかるから 8: 必要だとは思わないから 9: 日帰り登山だから
- 10: 普段は携行しているが今回は忘れた 11: その他(_____)

裏面へ続く

問 6. 携帯トイレを持参した方に伺います。

(1) 携帯トイレを使用しましたか(これから使用しますか)？

- 1: 使用した →問7へ 2: これから使用すると思う(翌朝も含む) →問7へ
3: 使用していない(しないと思う) →(2)を回答の後、問9へ

(2) 携帯トイレを使用していない(しないと思う)理由は何ですか？(複数可)

- 1: 携帯トイレブースがないから 2: 携帯トイレを使う際の隠れる場所がないから
3: 便意を催さないから(小便だけだから) 4: 携帯トイレは使用に時間がかかるから
5: これから縦走が長く使用済み携帯トイレを持ち歩くのはイヤ 6: トイレがあるから
6: 携帯トイレは非常用だから 7: その他(_____)

問 7. 携帯トイレを使用したのは、大便ですか、小便ですか？

- 1: 大便で使用した(これからする) 2: 小便で使用した(これからする)
3: 大便でも小便でも使用した(これからする)

問 8. 携帯トイレを使用した場所はどこですか(これから使用する予定場所でも可)？

- 1: 野営指定地等場所 _____
2: その他の場所等 _____

問 9. いま通過する裏旭野営指定地には携帯トイレブースは設置されていません。

裏旭に携帯トイレブースが設置されていたら立寄り、携帯トイレを使用しますか？

- 1: ブースがあったら携帯トイレを使用する 2: ブースがあっても使用しない
3: わからない
4: その他(_____)

～ あなたご自身についてお伺いします ～

問 10. あなたの性別はどちらですか？ (1: 男性 2: 女性)

問 11. あなたの年齢について、あてはまるものに○をつけて下さい。

- 1: 10代 2: 20代 3: 30代 4: 40代 5: 50代 6: 60代 7: 70代以上

問 12. あなたがお住まいの都道府県と市町村をご記入下さい。

(_____)都・道・府・県 (_____)市・町・村

ご意見・ご感想がございましたらお書き下さい。

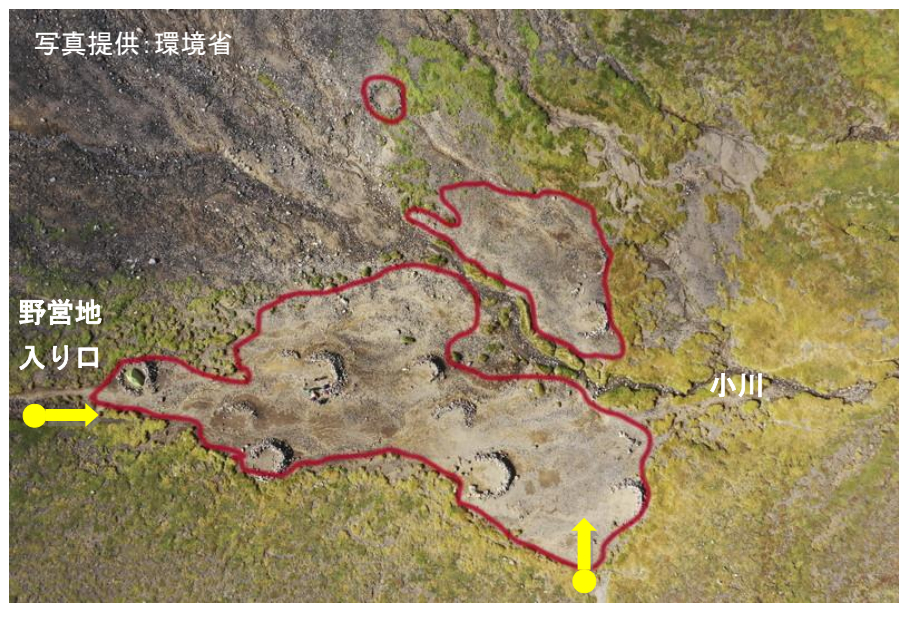
実施年月日 (曜日) [天 候]	2021 年 月 日 () [] ~ 月 日 () []	団体名/ 所属先	
調査参加人数	人	報告者	連絡 Email

NO	確認項目	結 果
1	テント数 (その内、小川(沢)向いエリアのテント数)	テント数： (その内、小川向いエリアの数：)
2	アンケート調査 枚数	宿泊者用： 枚 通過者用： 枚
3	ティッシュ回収数(※義務ではありません。可能な場合実施願います)	回収数： 個

【感想・特記事項】

※記入部分不足する場合は任意の様式で追加報告願います。

裏旭野営指定地の地形写真(野営地エリアは未確定)。調査写真はテント数が一番多いと思われる時間帯に2地点(黄色矢印)から写真を撮影下さい。



- ①実施後、本紙と写真を添付し、メールアドレス hokkaido@yamatoilet.jp へ速やかに報告願います。
(添付写真は1枚当たり容量を300KB程度以下に縮小のうえ添付願います)
- ②回答記載済みアンケート用紙(原本)は、下記宛先にまとめて郵送願います。
- ③緊急時の連絡先：